

## <香川県内の経済動向> (平成 29 年 5 月 15 日作成)

**現在の景気**：緩やかな回復を続けている。

**3 か月程度の見通し**：緩やかな回復へ向けた動きが続くと考えられる。

**個人消費**：一部に弱さもみられるものの基調的には持ち直している。

3月の百貨店・スーパー販売（速報値）は、前年比 2.4%減と 4 カ月連続で減少。店調後は前年比 1.9%減と 4 カ月連続で減少。3月のコンビニエンスストア販売（速報値）は、前年比（店調前） 1.8%増と 2 カ月ぶりに増加。3月の専門量販店販売（速報値）は、家電大型専門店が前年比（店調前） 1.7%減と 3 カ月ぶりに減少、ドラッグストアが同 3.3%増と 24 カ月連続で増加、ホームセンターが同 2.6%減と 2 カ月連続で減少。3月の乗用車新車販売は、普通乗用車で前年比 11.4%増、小型乗用車で同 14.7%増、軽乗用車で同 3.4%と増加し、全体では前年比 8.8%増と 5 カ月連続で増加。

**住宅建築**：このところ弱さがみられるものの、基調的には持ち直している。

3月の住宅着工戸数は、持家で前年比 9.3%減、貸家で同 26.0%減、分譲住宅で同 7.4%と減少し、全体では前年比 14.5%減と 2 カ月連続で減少。

**設備投資**：底堅く推移。

「全国企業短期経済観測調査結果（2017年3月）-香川県-」における 2016 年度の設備投資は、全産業で前年度比 20.4%増加見込み。

**公共工事**：高水準で推移。

3月の公共工事請負額は、国・独立行政法人等で前年比 36.7%減、県で同 8.3%と減少したものの、市町で同 165.1%と増加し、全体では前年比 41.3%増と 4 カ月連続で増加。平成 28 年度累計では前年比 18.5%増加。

**輸出**：底堅く推移。

3月の県内通関輸出額は、主要品目である船舶で前年比 78.7%減となり、全体では前年比 64.2%減と 3 カ月ぶりに減少。1～3月の累計では前年比 13.9%減少。

**生産活動**：振れを伴いつつも緩やかな持ち直しの動きがみられる。

2月の鉱工業生産指数（季調済）は、前月比 3.5%低下し、100.7 と 3 カ月ぶりに低下。原指数は、前年比 5.8%低下し 94.0 と 3 カ月ぶりに低下。化学・石油石炭製品工業（医薬品）、輸送機械工業（鋼船）などで低下。はん用・生産用機械工業（ころ軸受、高所作業車）、金属製品工業（鉄骨、アルミニウム建具）などで上昇。

**観光**：底堅く推移。

3月の県内テーマパークを含めた主要観光地の入込客数は、前年比 13.6%増と 3 カ月ぶりに増加。1～3月の累計では前年比 1.4%増加。

**雇用情勢：好調に推移。**

3月の有効求人倍率（季調済）は、前月比0.1ポイント上昇の1.67倍。新規求人数（原数値）は、製造業、卸売業、小売業等で減少し、全体では前年比0.7%減と20カ月ぶりに減少。

**（トピックス）**

○香川県内育ちのトラウトサーモン「讃岐さーもん」の今季の販売が4月7日、県内外で始まった。販売6年目となる今季は東かがわ、さぬきの両市、直島町の計5社が養殖。出荷量は初年の8千匹から年々増え、今季は昨季より2万4千匹増で過去最多の7万匹を見込んでいる。県漁連によると「讃岐さーもん」は、4種類のハーブを配合した専用飼料で養殖し、生臭さを抑え適度に脂がのって歯応えのある食感が特長。外国産に比べ水揚げから販売までの期間が大幅に短く、刺し身などの生食に適している。首都圏や京阪神は百貨店で、県内では主にスーパーで販売される。県漁連は「今年は輸入物の値段が上がっており、価格が安定している讃岐さーもんへの問い合わせが増えている」としている。

項目	変化方向			評 価				
	好転	不変	悪化	晴	晴一部曇	曇	曇一部雨	雨
現在の景気	○	●	○	○	○	●	○	○
3か月程度の見通し	○	●	○					
個人消費	○	●	○	○	○	●	○	○
住宅建築	○	●	○	○	●	○	○	○
設備投資	○	●	○	○	○	●	○	○
公共工事	○	●	○	○	●	○	○	○
輸出	○	●	○	○	○	○	●	○
生産活動	○	●	○	○	○	○	●	○
観光	○	●	○	○	○	●	○	○
雇用情勢	○	●	○	○	●	○	○	○
企業収益	○	●	○					
企業倒産	○	●	○					
資金需要	○	●	○					